

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

取組の概要

取組の概要 : 馬鈴しょ販売額の増加
計画作成主体 : 芽室町農業再生協議会
対象品目 : 馬鈴しょ (産地面積: 1,247ha)
主な取組主体 : J A めむろ馬鈴しょ作業受託組合
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 生産支援事業
状況

ポイント

省力的・効率的な栽培体系の整備により、収量や品質の安定的確保等を図る。
作業の省力化等により、加工用の作付面積の拡大を図る。
これらの取組により、販売額10%以上の増加を図る。

地区の概要



産地の現状と目標

現状 : H27年度

作付面積 : 1,110ha
生産量 : 39,749t

加工用馬鈴しょの需要は増加しているが、現状の栽培体系では、労働力不足に対応できず、作付面積の減少要因となっている。

目標 : H30年度

作付面積 : 1,247ha
生産量 : 46,139t

ソイルコンディショニング栽培を行うために必要な機械を導入するとともに、出荷を体系化し、効率的な馬鈴しょの作業受委託体系を確立することで、作付面積の維持と安定した収量・品質を確保する。

推進体制

地域の関係者 (J A めむろ、 J A めむろ馬鈴しょ作業受託組合、普及センター、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

主な取組

労働力対策として、 J A 労働支援対策課の設置、農作業の受委託事業等を実施。



事業効果

収穫機等の導入により、省力的な栽培体系が確立し、収穫量や品質向上が図られ、単収・単価が上昇。
また、作業受委託を進めることで、加工用の作付面積が拡大し、販売額の増加につながり、産地収益力の向上を図る。

~ 馬鈴しょの販売額 ~

